

みなさんこんにちは(*^*)

9 月に入りましたね。連日の猛暑がまるで嘘のように、朝晩涼しくなり、秋に向かっていくなあと感じる今日この頃です。秋といえば、読書の秋！芸術の秋！食欲の秋！など、いろいろな秋のイメージが湧いてきますよね。特に、スポーツの秋！ということで、皆さんのお住いの地域では、球技大会や運動会などのイベントが行われるというところも多いのではないのでしょうか。

私が地域の球技大会に向け、体育館でバレーボールの練習をしていた時のことです。母親に連れられ体育館に来ていた子どもたちが、母親の練習中、コート脇であそんでいたところ、勢い余ってボールをコートに入れてしまいました。すると――

「ダメ！！ボールこっちに入れないで！」

「ボールをコートに入れちゃダメって言ってるでしょう！」

「…もう！何回も言わせないで！！」

お母さんたちの、注意する声が体育館中に響き渡ります。

わざとではないにしろ、ボールが練習中のコート内に入ることは、とても危険なことです。大人にはその理由がわかるので、子どもたちに対して、その都度大声で注意するのですが、ボールがコートに入ってくる回数は、減るところか増えていきます。

「コートに入れちゃダメって言ったのに！！もう、連れてこないからね！」

「何回言ったらわかるの！」

「いい加減にきなさい！」

お母さんたちの声も大きくなっていき、なかなか練習に集中できません。

さて、こんな時、何かいい手立てはないのでしょうか？

東京大学大学院 教授 秋田貴代美（あきた きよみ）氏は、『…しようね』という言葉より、『…しないのよ』という制限と禁止の言葉で注意をする姿をよく見掛ける。しかし、決まりごとには、いつでもどこでも守るべき道徳とは別に、その場固有のさまざまなルールがある。そのルールに無自覚な子が注意される。『ここまではいいが、ここはダメ』など、大人が子どもを動かしやすいするための手順としての決まり事である。そのルールは、なぜ必要かを尋ねたり、説明したりする大人と、守るのが当たり前と子どもに意味を考えさせない大人がいる。『みんながここに置いてくれると、次も取り出しやすいね』と言葉を添える大人と、物を片付けない子を注意して終わる大人では、子供の経験は異なる」と話し

ている。(日本教育新聞 平成 28 年 4 月 18 日付 一部改編)

いかがでしょうか？

「子どもに考えさせる」という部分を、私達も取り入れることができるのではないのでしょうか。頭ごなしに、「ダメ！」と言うのではなく、なぜダメなのかを説明し、それならどうすればいいのかを子どもに考えさせる…。

バレーボールの練習をちゃんとしたかったAは、子どもたちを全員集めました。「ねえねえ、どうしてボールをコートに入れちゃダメって、さっきから怒られてるの？」と聞くと、子どもたちは「危ないから」と即答します。ところが、「どうして危ないの？」と聞くと、誰も答えられません。そこで、ボールを手に取り、「お母さんがちょうどジャンプした時、ボールがこうやって転がってきたらどうなると思う？」と聞きました。すると、「ボールに乗っかる！」「転ぶ！」「頭ぶつける！」「骨を折る！」…と口々にいろんなことを言いだしました。みんな、とても真剣な顔つきに変わっていきました。そこで、「ボールをコートに入れないようにお願いできるかな？」と言うと、一番年上の子が中心となって、ボールをコートに入れない作戦を立てて遊び始めました。その後、ボールは、ほとんどコートに入ってくることはありませんでした。

子どもたちに相談すると、ユニークな発想がいろいろ出てきます。大人の自分には思いもよらないナイスアイデアが出てくることもあります。大人の都合により、子どもにその時必要なルールを強いるのであれば、「ダメ！」だけではなく、なぜダメなのかを話してやり、どうしたらいいかを子どもに考えさせてみるのもオススメです。ただし、それは全てではなく、もちろん時と場合によっては、「什（じゅう）の掟」（＝ならぬことはならぬものです）が必要なこともありますけれど…。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」（次回から直接、メルマガを受信することができます）

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝えていただく。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

[URL:http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/](http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/) 「まなびネットいわて」で検索